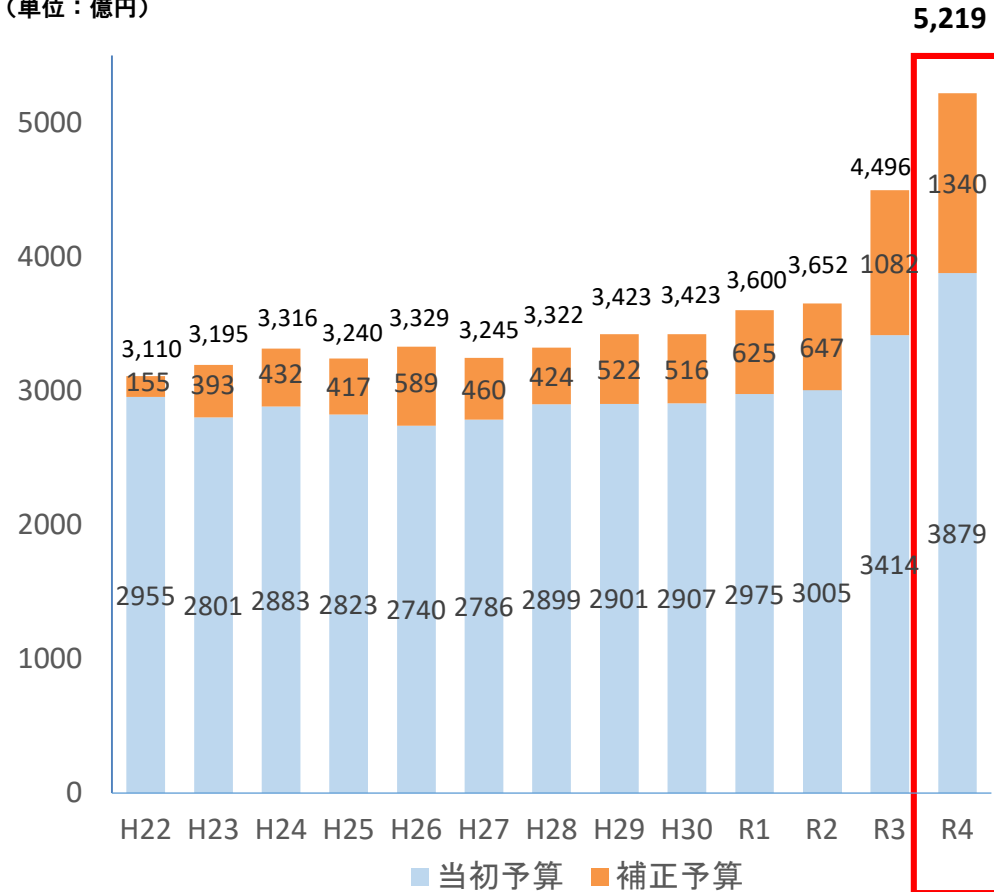


令和4年度当初予算案および令和3年度補正予算における宇宙関係予算

合計 5,219億円：令和4年度当初3,879億円+令和3年度補正 1,340億円
(前年度比 723億円増 (約 16%増))

(単位：億円)



府省名	R3補正		R4当初		合計(億円)	
		対前年		対前年		対前年
1. 内閣官房	175	0	625	0	800	0
2. 内閣府	180	+5	191	-3	371	+2
3. 警察庁	-	-	11	+2	11	+2
4. 総務省	69	+65	104	+1	173	+66
5. 外務省	-	-	3	0	3	0
6. 文部科学省	686	+106	1,526	-18	2,212	+88
7. 農林水産省	74	-4	28	+6	101	+2
8. 経済産業省	25	+23	212	+27	237	+50
9. 国土交通省	90	+65	164	+38	254	+102
10. 環境省	40	-1	46	-4	87	-6
11. 防衛省	-	-	969	+417	969	+417
合計	1,340	+258	3,879	+465	5,219	+723

四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計 5,219億円

【内閣官房】	<u>800億円</u>	【農林水産省】	<u>101億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	800億円	● スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト	49億円
【内閣府】	<u>371億円</u>	● 地理情報共通管理システム（eMAFF地図）の開発	33億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	278億円	【経済産業省】	<u>237億円</u>
● 小型衛星コンステレーションの構築など 宇宙開発利用の促進	83億円	● 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発	16億円
● 中央防災無線網の運用等	1億円	● 衛星データ利用基盤強化事業	25億円
【警察庁】	<u>11億円</u>	● マイクロ波無線電力伝送による 宇宙太陽光発電システムの開発	4億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	11億円	● 水素製造、半自律遠隔制御等研究開発	185億円
【総務省】	<u>173億円</u>	【国土交通省】	<u>254億円</u>
● 衛星量子暗号通信技術の研究開発	32億円	● 静止気象衛星業務等	50億円
● 衛星コンステレーションにおける量子暗号通信 実現のための光地上局テストベッド環境の整備	51億円	● 人工衛星の測量分野での利活用の推進	79億円
【外務省】	<u>3億円</u>	● 準天頂衛星を利用したSBAS等性能向上整備	33億円
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	【環境省】	<u>87億円</u>
【文部科学省】	<u>2,212億円</u>	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	57億円
● アルテミス計画に向けた研究開発等	402億円	● 衛星による地球環境観測経費	24億円
● 火星衛星探査計画（MMX）	92億円	【防衛省】	<u>969億円</u>
● H3ロケットの開発・高度化	205億円	● SSA（宇宙状況監視）の強化	158億円
● 先進レーダ衛星（ALOS-4）の開発	96億円	● 宇宙を利用した情報収集・通信能力等の強化	688億円
● 技術試験衛星9号機（ETS-9）の開発	78億円	● ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討	17億円
● X線分光撮像衛星（XRISM）の開発	116億円		
● 将来宇宙輸送システムロードマップ実現 に向けた研究開発	38億円		
● 衛星コンステレーション関連技術開発	86億円		

※ 各金額は四捨五入によって算出

宇宙関係予算の主な項目

昨年末、改訂した宇宙基本計画工程表等に基づき、災害対応等で有効と期待される小型衛星コンステレーションの構築や、アルテミス計画による2020年代後半の日本人宇宙飛行士の月面着陸の実現等に向けた取組を強力に進めるため、令和4年度予算案および令和3年度補正予算の合計として、関係府省全体で5,219億円を計上。
(令3当初+令2三次補正(4496億円)と比べて700億円以上の増)

1. 宇宙安全保障の確保

- 情報収集衛星の開発・運用（内閣官房） 800億円
- 準天頂衛星システムの開発・整備・運用（内閣府） 278億円
- SSA（宇宙状況監視）の強化（防衛省） 158億円
- ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討（防衛省） 17億円

2. 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献

- 小型衛星コンステレーションの構築など宇宙開発利用の促進（内閣府） 83億円
- 先進レーダ衛星（ALOS-4）の開発（文科省） 96億円
- マイクロ波無線電力伝送による宇宙太陽光発電システムの開発（経産省） 4億円
- 静止気象衛星業務等（国交省） 50億円
- GOSATシリーズによる地球環境観測事業等（環境省） 57億円

3. 宇宙科学・探査による新たな知の創造

- アルテミス計画に向けた研究開発等（文科省） 402億円
- 火星衛星探査計画（MMX）（文科省） 92億円
- X線分光撮像衛星（XRISM）の開発（文科省） 116億円

4. 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現

- スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト（農水省） 49億円
- 人工衛星の測量分野での利活用の推進（国交省） 79億円

5. 産業・科学技術基盤を始めとする総合的基盤の強化

- 衛星量子暗号通信技術の研究開発（総務省） 32億円
- 衛星コンステレーションにおける量子暗号通信実現のための光地上局テストベッド環境の整備（総務省） 51億円
- H3ロケットの開発・高度化（文科省） 205億円
- 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発（経産省） 16億円